

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 池森 康裕 志水 朱 高橋 由紀

【概 要】

利用者や家族に対して、あるいは多職種協働で進めるチームケアにおいて、円滑なコミュニケーションをとるための基本的なコミュニケーションの力を養う。生活を支える、基本的な介護技術について確認する。

【学習目標】

1. 利用者と積極的にコミュニケーションを図ることができる。
2. 家族の関わりや家族支援について理解することができる。
3. 基本的な介護技術を確認し、身につけることができる。
4. 日々変化する利用者の状況を記録して報告することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1週	<p>様々な生活の場における個々の生活リズムや個性を理解したうえで、個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、基本的な介護技術を実践する。</p> <p>多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。</p>	<p>施設の特徴、利用者の特徴、職員の職種、施設構造の特徴、日課、週間スケジュール、年間行事などについて把握する。</p> <p>基本的な援助をしながらコミュニケーションのとり方などの基本的な介護技術を実践する。</p> <p>個々の在宅での生活を知るとともに、家族の関わりや、家族支援について理解することができる。</p> <p>記録の機能と目的について理解し、利用者の間雑や関わりをもとに記録し、報告することができる。</p> <p>(通所介護 5日間：40時間) (訪問介護 1日間：5時間)</p>	池森、志水朱、高橋

【評価方法】

実習評価表30%、実習の記録、カンファレンス、課題・計画など70%とし、これらの項目を総合し評価する。

【備 考】

教科書：特に使用しない

参考書：介護福祉士養成講座編集委員会（編）：最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習』中央法規 2019

その他：この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護実習」に該当する。

【学習の準備】

介護総合演習 で立案した実習目標の課題を達成できるよう各自の課題に沿った学習を進めること（60分）

介護概論の教科書を事前に読んでおくこと（30分）

生活支援技術論の教科書を事前に読んでおくこと（30分）

実習に必要な技術を介護実習室で確認をすること（60分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4

【実務経験】

池森 康裕（介護福祉士・社会福祉士）、志水 朱（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）、高橋 由紀（介護福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。